20261030

測量士・測量士補通信添削講座
測量士補コース　ガイダンス

公益社団法人　日本測量協会

この度は、公益社団法人日本測量協会の通信添削講座をお選び頂きまして、ありがとうございます。
学習を開始する前に、こちらのガイダンスをお読み下さい。

合格への指針

1. 学習計画を立てる
国家試験に合格するには、最初に学習計画を立て、毎日少しずつでも休まずに勉強するよう心がけましょう。

2. 基礎知識の習得と新傾向および過去の出題傾向をつかむ
「受検テキスト」で合格に必要な基礎知識の習得と最近の出題傾向を把握し、「科目別模範解答集」で国家試験の過去問を把握しましょう。

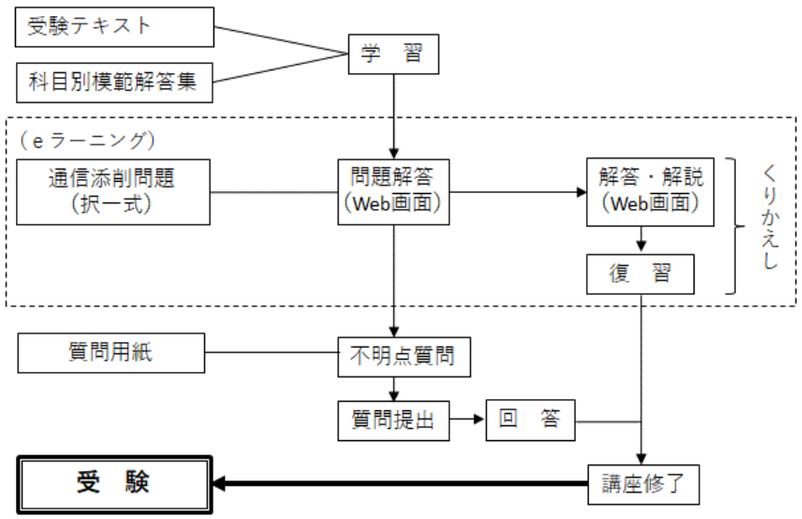
3. 解答は遅れても提出する
添削問題の解答は、遅れても必ず解答・提出するよう努力しましょう。

4. 必ず復習する
解答・解説または添削結果を参考にして必ず復習しましょう。7割マスターが合格ラインです。

★ 講座の進め方

添削問題(択一式)は、日本測量協会eラーニングシステム(JAS eラーニング)を使用し解答してください。なお、添削問題(択一式)の解答後は、JAS eラーニングによる解答・解説(Web 画面)を参照し、復習して下さい。また、不明な点は専用の‘質問用紙’にてお尋ね下さい。

[教材]



(注)JAS eラーニングを使用した解答ができない場合は測量技術教育部へご相談ください。

★ 学習計画

「通信添削問題」に提出目標日の表がありますので、これを参考に学習計画を立てて下さい。
なお、通信添削講座の終了日は 5 月 31 日となります。終了日までに「通信添削問題」に解答または質問用紙を郵送してください。

(注)　通信添削講座の終了日を過ぎて解答用紙または質問用紙を提出(郵送)された場合、添削指導後の解答用紙および質問用紙の返送はいたしません。通信添削講座の学習期間内にすべての添削問題に解答・提出するよう努めてください。また、規定の点数(65 点)に満たない場合の再提出につきましても、5 月 31 日必着で日本測量協会測量技術教育部に提出してください。

★ 教　材

§ 受験テキスト(最新版)
7科目について基本的事項から応用まで解説してあります。
このテキストで学習を進め、添削問題を解答して下さい。

§ 国家試験問題模範解説集(R8)および科目別模範解答集(R3-R7)
前年(R8)の国家試験問題・解説および過去5年間(R3-R7)の国家試験問題・解説(科目別)から頻出問題の傾向を把握し、過去問題と解説を繰り返し学習して下さい。

§ 通信添削問題集
過去の出題傾向から作られた国家試験の模擬問題です。

(注)　国家試験の科目は変更されましたが、教材にはそれぞれの科目が盛り込まれています。
科目：測量に関する法規、汎地球測位システム測量、地理情報システム

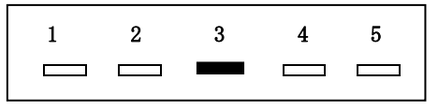
§ 通信添削問題解答(JAS eラーニングまたは郵便)
添削問題(択一式)は、JAS eラーニングにより解答してください(別添「日本測量協会通信添削講座 JAS eラーニングシステム操作ガイド」を参照ください)。ただし、JAS eラーニングによる解答ができない場合は、解答用紙(択一問題用)を使用し、解答を記入して郵送してください。解答用紙(択一問題用)の解答方法は、解答欄の該当する ▭ を塗りつぶし、**その下の記述欄には、計算過程や説明を記入**して郵送して下さい。
解答用紙を郵送する場合は、**郵便番号、住所、氏名、受講番号**を忘れずご記入ください。
記入を忘れると添削済の解答および解説が返送(郵送)できません。

解答用紙(択一問題用)解答記入例

住所	1 2 3 4 5 6 7 〇〇県〇〇市〇〇町1丁目2−3 〇〇〇〇〇マンション I −203	多　角　測　量 No．1 解 答 用 紙	
氏名	測　量　太　郎　殿	受講番号	評　点
		士 補 321	

住所・氏名・受講番号は，一枚一枚楷書で記入して下さい。
未記入の場合は返送出来ない場合があります。

問A（解答）



〔記述欄〕

（文章問題の例） *気象補正は必要ない。 ⟶ 気象補正は必要である。*

※ 解答用紙の記述欄には、解答理由や計算式を必ず記入してください。
※ 記入されていない場合、的確な添削指導が出来ないおそれがあります。

§ 質問用紙（20枚）

この用紙は、通信添削問題について質問するためのものです。
問題を解答するにあたり、「この意味はどのように理解すべきか」または「この点がよく理解できない」など、疑問点が生じた場合は、専用の質問用紙を利用し質問して下さい。
質問時は、次の点に注意して下さい。

① 質問事項は、**出来る限り具体的に**記入して下さい。
② 講座は科目毎に担当講師が異なりますので、**1枚1科目**とし記入して下さい。
③ **郵便番号、住所、氏名、受講番号**そして科目を、はっきり記入して下さい。
④ 枚数に限りがございますので、要領よく簡潔に質問するように心がけて下さい。

§ 封筒

解答用紙および質問用紙の送付用です。不足の場合は、適宜既製のものをご利用下さい。

！第4種郵便について

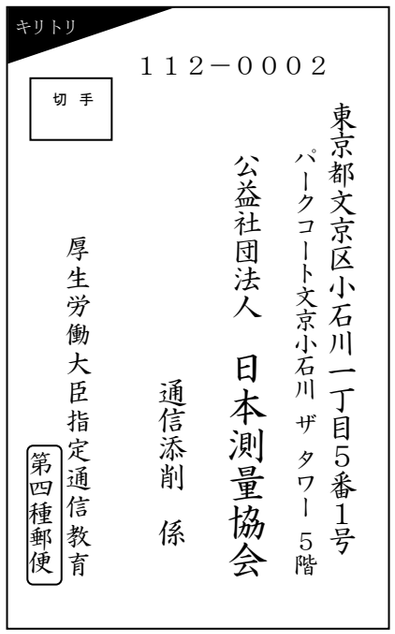
当講座への添削問題および質問の提出には第4種郵便が適用されます。
下記の決まりを守り、解答と質問を提出して下さい。

★【厚生労働大臣指定通信教育】
および、
【第4種郵便】と明記すること。

★ 封筒の左上を切り取り、
中が見えるようにすること。

★ 100gまでは15円です。
100g増える事に10円増し

200g……25円
300g……35円
～1kgまで



★ 国家試験の案内

1. 受験資格の条件は特にありません。
年齢、性別、学歴、実務経験等に関係なく誰でも受験できます。
2. 試験日は、例年5月中～下旬の日曜日です。
※実施日等については、毎年12月初旬に、国土地理院HP・官報へ掲載してご案内されます。
3. 試験の方法と科目は、次のとおりです。（令和 8 年の案内より）

	午　前　（2時間30分）	午　後　（2時間30分）
測量士	出題は択一式で 28 問です 科目：測量に関する法規およびこれに関連する国際条約、測地測量、測図測量、地理情報システム、三次元点群測量、応用測量 ※　上記の各専門科目に関連して技術者として測量業務に従事する上で求められる知識（技術者倫理、測量の基準、基礎的数学等）についても出題します。	記述式の問題です 必　須……1題4問 選　択……4題のうち2題を選ぶ 2題×3問＝6問
測量士補		午　後　（3時間00分） 出題は択一式で 28 問です 科目：測量に関する法規、測地測量、測図測量、応用測量 ※　上記の各専門科目に関連して技術者として測量業務に従事する上で求められる知識（技術者倫理、測量の基準、基礎的数学等）や三次元点群測量（測量士補）についても出題します。

★『教育訓練給付』をご希望の方へ

1. 給付の対象となる条件
① 受給資格があること。（「教育訓練給付金支給要件回答書」にて確認）
② 通信添削講座終了日（5 月 31 日）に、全科目の課題提出 80%以上および規定の点数（65 点）※1 を満たしていること（修了条件）。
③ 本人確認書類（運転免許証、パスポート、健康保険証等のコピー）を提出※2していること。
※1 規定の点数に満たない場合は再提出を認めます。5 月 31 日必着で日本測量協会測量技術教育部に提出してください。
（ 再提出の方は、**'再提出用解答用紙'**に科目名№と解答を記入し、ご提出下さい ）
ただし、JAS e ラーニングから解答した場合は、JAS e ラーニングから再解答してください。
※2 本人確認書類は、第1回の課題提出時に同封して下さい（必須）。

2. 給付の支給申請手続
＊申請期間 …… 受講終了日の翌日から起算して 1 ヶ月以内（**期限厳守**）
＊ハローワークに提出する書類
① 教育訓練給付金支給申請書（受講修了者に厚労省用紙を送付）
② 教育訓練修了証明書（受講修了者に送付）
③ 領収書（教材と同梱）
④ 本人・住所確認書類（運転免許証、マイナンバーカード、国民健康保険被保険者証など）
⑤ 個人番号（マイナンバー）確認書類
⑥ 雇用保険被保険者証

公益社団法人日本測量協会　測量継続教育センター
〒112－0002　東京都文京区小石川一丁目5番1号
パークコート文京小石川 ザ タワー 5階
TEL 03-5684-3355　FAX 03-5684-3366
E-Mail　tensaku@jsurvey.jp